

## TL 2020 年版作成に向けた TL 見直し

### 1. TL 2020 年版作成に向けた意見収集の実施

TL 2020 年版作成に向けた意見収集の実施状況は、以下のとおり。

表－1 TL 2020 年版作成に向けた意見収集実施状況

No	TL 2020 年版作成 に向けた意見収集	時 期	目 的
1	TL 専門部会（運用訓練）	R1. 8	・ 訓練を踏まえた TL 修正意見の把握
2	TL 専門部会（運用訓練）後 アンケート	R1. 9	・ 訓練を踏まえた TL 修正意見の把握
3	令和元年台風第 19 号の 対応状況調査	R1. 10	・ 台風第 19 号対応を踏まえた TL 修正意見 の把握
4	TL 専門部会（第 1 回） （ふり返し検証ワークショップ）	R1. 12	・ 台風 19 号ふり返し検証ワークショップに て TL 修正意見の把握
5	TL 専門部会（第 1 回）後 アンケート	R2. 1	・ ふり返し検証ワークショップで把握しきれ なかった各機関個別の TL 防災行動の修 正意見の把握
6	今後の荒川下流 TL 改善検討 に関する聞き取り調査 （東京都及び 16 市区ヒアリング）	R2. 2～3	・ TL 運用開始以来、初めて TL レベル 3（目 安の時刻－3H）に至ったことを踏まえ、各 機関の TL 運用状況や詳細な TL 改善意 見の把握

## 2. TL見直しのポイント

令和元年台風第19号では、荒川下流タイムライン運用開始以来はじめてTLレベル3(目安の時刻-3H)まで進んだ。(※1)

この体験を踏まえ、関係機関から寄せられた具体的なTL修正意見は以下の通り。

※1(参考) これまでTLレベルが最も進んだのは、平成29年台風第21号でのTLレベル1-2(目安の時刻-30H)であった。

### ■具体的なTL修正点

#### (1) 河川管理者からの情報伝達の見直し

##### 1) 「水位予測の伝達」の「洪水予報の伝達」への統合

- ・「水位予測」の内容は「洪水予報」の伝達に含まれているため、河川管理者の防災行動としては「洪水予報」の伝達に統合。

##### 2) ホットラインの修正

- ・河川管理者からの「ホットライン」は、実際の台風時には気象庁の降雨予測が発表された段階で実施する場合もあることから、「降雨状況を踏まえ適宜、実施する」旨を補足説明として追加する。また、この修正と合わせて実施するタイミングを見直す。

#### (2) 気象庁・気象台の情報提供等の見直し(追加)

- ・気象庁・気象台からは、「都庁・県庁へのJETT(気象庁防災対応支援チーム)の派遣」、「特別警報発表時の記者会見の実施【厳重な警戒を呼び掛けるため】」などの情報提供等の強化のための防災行動が追加された。

#### (3) 東京都の大規模出水を踏まえた情報提供の見直し(追加)

- ・東京都では、大規模出水時における重要情報として、「岩淵水門の閉操作の状況を都の防災ツイッターでの広報」を実施するなど、都民・関係機関への情報提供のための記載が追加された。

#### (4) 各市区の防災行動

- ・各市区の防災行動について以下の見直しを行う。
  - ①「自主避難の呼びかけ」など、避難準備・勧告・指示によらない、早期の避難の呼びかけの防災行動の追加
  - ②避難準備・勧告・指示の実施時期の見直し
  - ③住民への情報提供の多様化(ケーブルTVの活用、湛水長期化を見越した情報提供等)
  - ④鉄道計画運休を踏まえた鉄道運行情報の早期の情報収集、体制配備検討

#### (5) 地下鉄に関する防災行動の見直し(追加)

- ・東京メトロでは、氾濫発生のおそれのある0H(ゼロアワー)のタイミングで、「鉄道駅社員の避難開始」の防災行動を追加。

#### (6) 警視庁の大規模出水時の防災行動の見直し(追加)

- ・従来、台風による首都圏への影響の可能性が予想される-72Hの段階で、各機関が行っていた体制配備の準備について、警視庁の新たな防災行動として追加。
- ・従来、要配慮者利用施設が行っていた要支援者の把握や、避難行動要支援者への避難呼びかけについて、警視庁の新たな防災行動として追加。
- ・従来、各区において実施していたアンダーパスや道路・河川・土砂災害危険箇所等のパトロールについて、警視庁の新たな防災行動として追加。

上記のほか、各機関からの具体的な「TLに関する各機関からの意見と修正結果一覧」は、資料3に示す。